

令和5年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	生涯学習課 社会教育係	記載者職・氏名	係長 中堀 啓司
-------	-------------	---------	----------

継続	予算事業コード	6500
----	---------	------

No.	1001	補助金名	下田市文化協会補助金
-----	------	------	------------

根拠法	なし
-----	----

交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則
---------	-------------

総合計画の位置付け	分野	2 子育て・教育	施策体系	施策5 歴史・文化の伝承と芸術の振興
-----------	----	----------	------	--------------------

	施策	文化・芸術活動の活性化を図ります		
--	----	------------------	--	--

補助対象者	下田市文化協会	事務局等	下田市文化協会
-------	---------	------	---------

補助金の性質	運営費的補助		
--------	--------	--	--

補助開始年度	H13	補助終期設定	なし	補助率	なし	1件当たり補助上限額	なし
--------	-----	--------	----	-----	----	------------	----

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R06	250,000	0	250,000
R05	250,000	0	250,000
R04	250,000	0	250,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R04	218,041	0	218,041
R03	68,640	0	68,640
R02	68,640	0	68,640
R01	250,000	0	250,000
H30	250,000	0	250,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	平成13年、それまでの芸術連盟から、より広範囲な団体・個人を対象とした文化協会が発足した。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	文化団体によって構成される本市唯一の連合組織であり、他に類似団体はない。
当初目的の達成度	平成13年文化協会発足以来、活動も安定してきたが、会員の高齢化が進んでいるため今後は若年層の会員増加がテーマである。
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	芸術祭を開催するなど、地域の文化振興・向上にとっては必要不可欠な団体であるため、補助金交付による活動の維持が必要であると考えられる。また、廃止により文化活動の衰退、芸術祭の開催に支障が生ずる。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	芸術祭開催等により、市民に芸術文化等の活動成果の発表機会と鑑賞機会を提供することにより、市民の自主的な文化活動の活性化が期待できる。	8
市が補助すべき理由	※②	文化団体が行う活動を支援し、自主的な文化活動の活性化及び市民文化の振興を図るため。	9
目的・内容		文化団体が行う活動を支援することにより、文化活動の活性化及び市民文化の振興を図るため、市内の文化団体の連合組織である下田市文化協会に対し補助金を交付する。	9
補助金の主な使途	※③	芸術祭の事業費、会報発行のための広報費	8
予算要求額の算出根拠・算出方法		芸術祭の執行経費等の運営費補助として定額（25万円）を交付している。令和2年度・令和3年度に芸術祭を中止とし、令和4年度は展示部門のみの開催のため、繰越金が増加している。	7
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		R04年度決算 繰越金240,917円 補助金額218,041円	3
成果・費用対効果	※④	文化協会会員の地域での活動の成果から、各地区における文化展も活発化し文化・芸術の裾野の広がりが見られる。 【芸術祭（参加作品数・団体数/入場者数）】 R04年度:117点/744人（展示部門のみ開催） R03年度・R02年度:中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため） R元年度:186点.35組/4,149人 H30年度:194点.34組/3,031人	7

①公益性	8
------	---

②必要性	9
------	---

③適格性	6
------	---

④効果	7
-----	---

令和5年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	生涯学習課	社会教育係	記載者職・氏名	係長 中堀 啓司
継続	予算事業コード	6701		
No.	1002	補助金名	下田市体育協会補助金	
根拠法	なし			
交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則			
総合計画の位置付け	分野	2 子育て・教育	施策体系	施策6 生涯スポーツの振興
	施策	ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します		
補助対象者	NPO法人下田市体育協会		事務局等	NPO法人下田市体育協会
補助金の性質	運営費的補助			
補助開始年度	—	補助終期設定	なし	補助率
				なし
			1件当たり補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R06	490,000	0	490,000
R05	490,000	0	490,000
R04	510,000	0	510,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R04	490,000	0	490,000
R03	510,000	0	510,000
R02	355,000	0	355,000
R01	155,000	0	155,000
H30	155,000	0	155,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	各スポーツ団体を構成団体として体育協会が組織された。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	地域内で活動するスポーツ団体を統括する機関であり、他に類似団体はない。
当初目的の達成度	地域のスポーツ交流、人材育成を実施しているが、加盟団体数が減少しつつある。 【加盟団体数】R04年度12団体、R03年度13団体、R02年度13団体 R元年度13団体 H30年度13団体
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	NPO法人化しているが、自主事業で活動費を得るまでに至っていないため補助金廃止により活動が衰退する。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	健康志向が高まる中、市民の身近な所で、スポーツを通じて健康づくりの場の提供が不可欠であり、市民生活の向上に貢献可能である。	8
市が補助すべき理由	※②	市のスポーツ行政の補完的役割を果たしスポーツ活動の場を提供する体育協会を支援するため最低限の補助金は必要である。	9
目的・内容		本市のスポーツ振興の普及・振興に中心的役割を担っている体育協会を支援することにより、市のスポーツ振興及び市民の健康増進・体力向上を図る。	9
補助金の主な使途	※③	育成事業費、表彰事業費	8
予算要求額の算出根拠・算出方法		定額補助（20,000円×競技別協会数+体育協会事業費）	7
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		R04年度決算 繰越金414,295円 補助金額490,000円	5
成果・費用対効果	※④	体育協会加盟団体の事業に多くの市民が参加し、競技を通じ交流と親睦も図られ、市民のスポーツ活動の充実に貢献している。	7

①公益性 8

②必要性 9

③適格性 7

④効果 7

令和5年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	生涯学習課 社会教育係	記載者職・氏名	係長 中堀 啓司
-------	-------------	---------	----------

継続	予算事業コード	6701
----	---------	------

No.	1005	補助金名	全国大会等出場費補助金
-----	------	------	-------------

根拠法	なし
-----	----

交付要綱等名称	下田市全国大会等出場費補助金交付要綱
---------	--------------------

総合計画の位置付け	分野	2 子育て・教育	施策体系	施策6 生涯スポーツの振興
	施策	ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します		

補助対象者	全国大会等出場者	事務局等	—
-------	----------	------	---

補助金の性質	活動費的補助
--------	--------

補助開始年度	H24	補助終期設定	なし	補助率	1/2	1件当たり補助上限額	30,000
--------	-----	--------	----	-----	-----	------------	--------

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R06	60,000	0	60,000
R05	60,000	0	60,000
R04	60,000	0	60,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R04	30,000	0	30,000
R03	0	0	0
R02	0	0	0
R01	49,000	0	49,000
H30	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	各種大会において好成績をあげた市民が全国大会等に出場する場合に多額の経費を要するため、その経費の一部支援が求められている。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	全国大会等へ参加する際には地理的な面からも金銭的な負担が大きくなるが、補助を行うことで参加への敷居がさがっている。
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	全国大会等への参加の金銭的な負担が大きくなり、児童生徒のスポーツや文化活動の衰退につながる。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	受益者は限定されるが、全国大会等への出場は市民に明るい話題を提供するとともに、青少年の健全育成及びスポーツの競技力にも繋がるものである。	6
市が補助すべき理由	※②	全国大会等に出場する場合、交通費や宿泊費に多くの費用を要し、日頃の努力により全国大会等に出場する選手等に対し財政的支援として補助金を交付することは青少年の健全育成及びスポーツ競技力の向上にも繋がるものであり妥当。	8
目的・内容		青少年の健全なスポーツの振興を図るため、市等を代表して東海大会以上の規模の大会に出場する個人又は団体の参加に要する経費の一部を助成をする。	8
補助金の主な使途	※③	往復旅客運賃、バス借上料及び機材等の輸送費並びに宿泊料	8
予算要求額の算出根拠・算出方法		補助対象経費（往復旅客運賃、バス借上料及び機材等の輸送費並びに宿泊料）の1/2以内。上限額3万円×3件想定。	8
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越しなし。（単年度ごとの補助）	10
成果・費用対効果	※④	【補助実績】R4：2件、R3：0件 R2：0件 R元：2件 H30年：0件	7

①公益性	6
------	---

②必要性	8
------	---

③適格性	9
------	---

④効果	7
-----	---

令和5年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	生涯学習課	社会教育係	記載者職・氏名	係長 中堀 啓司			
要望があれば実施	予算事業コード	6500					
No.	1006	補助金名	下田市指定文化財保存費補助金				
根拠法	なし						
交付要綱等名称	下田市指定文化財保存費補助金交付要綱						
総合計画の位置付け	分野	2 子育て・教育	施策体系	施策5 歴史・文化の伝承と芸術の振興			
	施策	文化財などを保存、継承、活用します					
補助対象者	諏訪神社	事務局等	-				
補助金の性質	活動費的補助						
補助開始年度	S61	補助終期設定	なし	補助率	なし	1件当たり補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R06	0	0	0
R05	180,000	0	180,000
R04	0	0	0

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R04	0	0	0
R03	0	0	0
R02	0	0	0
R01	0	0	0
H30	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	市指定文化財の保存と活用を図るため
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	伐採を行うことで、適切な保護保存がはかれている。
同一団体への他の補助金の有無	所有者1/2 180,000円
廃止の見込み、廃止の影響	下田市指定文化財の保護保存ができなくなる。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	市指定文化財への補助である。	8
市が補助すべき理由	※②	市指定文化財の保存と活用を図り、市民の文化向上を資するため、補助金を交付するもの。	9
目的・内容		市指定文化財に対する補助	9
補助金の主な使途	※③	伐採費用	9
予算要求額の算出根拠・算出方法		補助金交付要綱あり。 補助率は当該費用の2分の1以内とする。	9
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越しなし。（単年度ごとの補助）	10
成果・費用対効果	※④	市指定文化財の保護保存を図る。	9

①公益性 8

②必要性 9

③適格性 9

④効果 9

令和5年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	生涯学習課 社会教育係	記載者職・氏名	係長 中堀 啓司
-------	-------------	---------	----------

継続	予算事業コード	6700
----	---------	------

No.	1007	補助金名	東京オリンピック・パラリンピックホストタウン下田市推進協議会補助金
-----	------	------	-----------------------------------

根拠法	なし
-----	----

交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則
---------	-------------

総合計画の位置付け	分野	2 子育て・教育	施策体系	施策6 生涯スポーツの振興
	施策	ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します		

補助対象者	東京オリンピック・パラリンピックホストタウン下田市推進協議会	事務局等	下田市教育委員会生涯学習課
-------	--------------------------------	------	---------------

補助金の性質	運営費的補助
--------	--------

補助開始年度	R元	補助終期設定	R6	補助率	なし	1件当たり補助上限額	なし
--------	----	--------	----	-----	----	------------	----

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R06	0	1,000,000	1,000,000
R05	3,510,000	0	3,510,000
R04	2,000,000	0	2,000,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R04	2,645,000	0	2,645,000
R03	2,937,227	0	2,937,227
R02	91,393	0	91,393
R01	205,722	0	205,722
H30	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	東京2020オリンピック・パラリンピックにおけるサーフィンアメリカ代表チームのホストタウン誘致。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	市内サーフィン関係者によるネットワークやアイデアを活かし、事業が実施できている。
同一団体への他の補助金の有無	toto助成金（地方公共団体スポーツ活動助成）
廃止の見込み、廃止の影響	継続的なホストタウン事業の実施が困難となる。ただし、本来ホストタウン誘致のために立ち上げた組織であるため、中・長期の目標設定も含め、今後のあり方については検討が必要。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	ホストタウン事業を通じた国際交流の推進や地域特性を生かしたマリンスポーツの奨励は、市民の国際感覚の養成、郷土愛の醸成に効果的であり、公益性は高い。	9
市が補助すべき理由	※②	市直営事業ではなく、市内サーフィン関係団体も含めて構成された推進協議会が事業の実施主体となることで、民間のネットワークを活かした事業の実施が期待できるため。	9
目的・内容	※②	ホストタウン事業を下田市におけるオリンピックレガシーとして、地域活性化に繋げていくため。	9
補助金の主な使途	※③	USAサーフィンチーム選手受入・交流事業、サーフィンイベント支援をはじめする機運醸成事業	9
予算要求額の算出根拠・算出方法	※③	選手受入事業1,000千円（※渡航費用等含む1名招聘想定）、機運醸成事業500千円（サーフィンイベント支援※300千円1件、10千円×2件）	8
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		R04年度決算 繰越金351,000円 補助金額2,645,000円	7
成果・費用対効果	※④	R4に東京五輪女子サーフィン金メダリストのカリッサ・ムーア選手をはじめとするUSAサーフィンチームが下田に来訪し、下田中学校生徒との交流が実現した。	8

①公益性	9
------	---

②必要性	9
------	---

③適格性	8
------	---

④効果	8
-----	---

令和5年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	生涯学習課	社会教育係	記載者職・氏名	係長 中堀 啓司	
要望があれば実施	予算事業コード	6500			
No.	1008	補助金名	文化財保護事業補助金		
根拠法	なし				
交付要綱等名称	文化財保護事業補助金交付要綱				
総合計画の位置付け	分野	2 子育て・教育	施策体系	施策5 歴史・文化の伝承と芸術の振興	
	施策	文化財などを保存、継承、活用します			
補助対象者	宗教法人 玉泉寺		事務局等	—	
補助金の性質	活動費的補助				
補助開始年度	S61	補助終期設定	なし	補助率	
				<small>国県補助対象事業費のうち国及び県補助金の額を差し引いた額の1/2以内</small> 1件当たり補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R06	0	0	0
R05	500,000	0	500,000
R04	0	0	0

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R04	0	0	0
R03	0	0	0
R02	0	0	0
R01	1,259,000	0	1,259,000
H30	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	国指定史跡玉泉寺のロシア人墓が傾いており、墓石の倒壊、崩落を防ぐため、ロシア人墓地全体の改修を行うもの。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	改修を行うことで、適切な保護保存がはかれている。
同一団体への他の補助金の有無	国：1/2 1,500,000円 県：1/6 500,000円 所有者1/6 500,000円
廃止の見込み、廃止の影響	指定文化財や準指定文化財の保護保存が行えなくなる。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※① 国指定史跡への補助である。	8
市が補助すべき理由	国指定文化財（史跡）の保護保存を図るため。	9
目的・内容	※② 国指定史跡の保護保存を図るため、傾いてきているロシア人墓地周辺の改修を行うもの。	9
補助金の主な使途	修復、改修費用	9
予算要求額の算出根拠・算出方法	※③ 国県補助対象事業費のうち国及び県補助金の額を差し引いた額の1/2以内	9
繰越額・積立額と補助金交付額との比較	繰越しなし。（単年度ごとの補助）	10
成果・費用対効果	※④ 市指定文化財の保護保存を図る。	9

①公益性 8

②必要性 9

③適格性 9

④効果 9

令和5年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	生涯学習課 社会教育係	記載者職・氏名	係長 中堀 啓司
継続	予算事業コード	6500	
No.	1009	補助金名	まどが浜文化イベント実行委員会補助金
根拠法	なし		
交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則		
総合計画の位置付け	分野	2 子育て・教育	施策体系 施策5 歴史・文化の伝承と芸術の振興
	施策	文化・芸術活動の活性化を図ります	
補助対象者	まどが浜文化イベント実行委員会	事務局等	with a tree
補助金の性質	活動費的補助		
補助開始年度	R4	補助終期設定	なし
		補助率	なし
		1件当たり補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R06	150,000	1,000,000	1,150,000
R05	1,055,000	0	1,055,000
R04	1,900,000	0	1,900,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R04	1,484,018	0	1,484,018
R03	0	0	0
R02	0	0	0
R01	0	0	0
H30	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	まどが浜海遊公園の有効活用を推進するもの。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	まどが浜海遊公園を利用した文化イベントを開催し、子どもたちが気軽に文化活動に興味を持てるような発表の場を創出した。
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	イベントの開催方法(内容・場所)を変更する。

○評価点 (10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示)

公益性の所在	※①	子ども達の習い事の発表・参加機会を提供することにより、市民の自主的な文化・スポーツ活動の活性化が期待できる。	8
市が補助すべき理由	※②	まどが浜文化イベントを実施するため	8
目的・内容	※②	子ども達の習い事の発表の場・参加機会の確保及びまどが浜海遊公園の有効活用	8
補助金の主な使途	※③	まどが浜文化イベントの事業費	8
予算要求額の算出根拠・算出方法	※③	まどが浜文化イベントの開催事業費の見積額	8
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		R04年度決算 繰越金3円 補助金額1,054,400円	10
成果・費用対効果	※④	子どもたちの文化活動等の発表ができる場を創出するため、まどが浜海遊公園を活用した文化イベントを開催した。ステージ発表9団体、PRブース参加16団体、延べ1,000人を超える来場者があった。	9

①公益性 8

②必要性 8

③適格性 9

④効果 9

令和5年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	生涯学習課 社会教育係	記載者職・氏名	係長 中堀 啓司
-------	-------------	---------	----------

新規	予算事業コード	6701
----	---------	------

No.	1011	補助金名	下田市スポーツ大会等誘致推進事業補助金
-----	------	------	---------------------

根拠法	なし
-----	----

交付要綱等名称	下田市スポーツ大会等誘致推進事業補助金交付要綱
---------	-------------------------

総合計画の位置付け	分野	2 子育て・教育	施策体系	施策6 生涯スポーツの振興
	施策	スポーツ環境を整備します		

補助対象者	日本スポーツ協会加盟団体等	事務局等	—
-------	---------------	------	---

補助金の性質	活動費的補助
--------	--------

補助開始年度	R6	補助終期設定	なし	補助率	1/3	1件当たり補助上限額	500,000
--------	----	--------	----	-----	-----	------------	---------

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R06	1,600,000	1,600,000	3,200,000
R05	0	0	0
R04	0	0	0

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R04	0	0	0
R03	0	0	0
R02	0	0	0
R01	0	0	0
H30	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	これまで観光交流課が担当課となりサーフィンやマリンスポーツ等の大会に対する補助金を交付してきたが、個別要綱がなく、イベント毎に交付額の基準がなかったため。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	—
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	—

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	市内でのスポーツ大会を誘致することで、参加者の宿泊、飲食費等の経済波及効果を生むだけではなく、市民のスポーツ振興のきっかけにもなり得ることから、その公益性は非常に高いものと考えられる。	0
市が補助すべき理由	※②	地理的なハンディキャップ及び恵まれたスポーツ環境を有しているとは言えない下田市において、他地域に対するストロングポイントは、言うまでもなく雄大な自然であり、スポーツのフィールドとしては国内屈指の環境を有している。市が標ぼうするエコツーリズムやスポーツツーリズムの推進のため。	0
目的・内容		スポーツ大会の誘致を推進するための事業を実施する。	0
補助金の主な使途		大会等開催費用	0
予算要求額の算出根拠・算出方法	※③	過去の実績及び誘致予定の大会による算出	0
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		—	0
成果・費用対効果	※④	—	0

①公益性	0	②必要性	0	③適格性	0	④効果	0
------	---	------	---	------	---	-----	---

令和5年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	生涯学習課 社会教育係	記載者職・氏名	係長 中堀 啓司
-------	-------------	---------	----------

新規	予算事業コード	6701
----	---------	------

No.	1012	補助金名	下田市スポーツ大会開催費補助金
-----	------	------	-----------------

根拠法	なし
-----	----

交付要綱等名称	下田市スポーツ大会開催費補助金交付要綱
---------	---------------------

総合計画の位置付け	分野	2 子育て・教育	施策体系	施策6 生涯スポーツの振興
	施策	スポーツ環境を整備します		

補助対象者	下田・河津間駅伝競走大会実行委員会・黒船アクアスロン実行委員	事務局等	下田市教育委員会生涯学習課
-------	--------------------------------	------	---------------

補助金の性質	活動費的補助
--------	--------

補助開始年度	R6	補助終期設定	なし	補助率	なし	1件当たり補助上限額	なし
--------	----	--------	----	-----	----	------------	----

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R06	600,000	400,000	1,000,000
R05	0	0	0
R04	0	0	0

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R04	0	0	0
R03	0	0	0
R02	0	0	0
R01	0	0	0
H30	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	市が実行委員会を設置して実施する大会の補助金をまとめるため。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	—
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	—

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	市が実行委員会を設置し開催する大会に補助金を交付し、市民のスポーツの振興を促すため。	0
市が補助すべき理由	※②	市が実行委員会を設置し開催する大会に補助金を交付し、スポーツ大会を開催するため。	0
目的・内容		市が実行委員会を設置して実施する大会の振興及び普及のため。	0
補助金の主な使途	※③	大会等開催費用	0
予算要求額の算出根拠・算出方法		下田・河津間駅伝競走大会・黒船アクアスロン大会等の開催費用の見積による算出	0
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		—	0
成果・費用対効果	※④	—	0

①公益性	0
------	---

②必要性	0
------	---

③適格性	0
------	---

④効果	0
-----	---

令和5年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	生涯学習課 社会教育係	記載者職・氏名	係長 中堀 啓司
-------	-------------	---------	----------

新規	予算事業コード	6701
----	---------	------

No.	1013	補助金名	下田市スポーツ合宿等誘致補助金		
根拠法	なし				
交付要綱等名称	下田市スポーツ合宿等誘致補助金交付要綱				
総合計画の位置付け	分野	2 子育て・教育	施策体系	施策1 特色ある観光業の振興	
	施策	新たな人の流れを生み出す環境を整備します			
補助対象者	市内にて合宿等を実施するスポーツ団体・文化団体等		事務局等	-	
補助金の性質	活動費的補助				
補助開始年度	R6	補助終期設定	なし	補助率	【鉄道運賃】- 1件当たり補助上限額 人あたり3千円 100,000

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R06	500,000	0	500,000
R05	0	0	0
R04	0	0	0

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R04	0	0	0
R03	0	0	0
R02	0	0	0
R01	0	0	0
H30	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	市で合宿等を実施するスポーツ団体等の誘致を推進するため
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	-
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	-

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	市内で行っている合宿等における交流人口を確保し、地域の活性化に繋げる	0
市が補助すべき理由	※②	市内に宿泊し、合宿等を実施するスポーツ団体・文化団体に補助金を交付し、交流人口の増加を図る。	0
目的・内容		夏期以外の交流人口の確保のため	0
補助金の主な使途	※③	鉄道運賃・バス等借上費・宿泊費	0
予算要求額の算出根拠・算出方法		敷根公園等の合宿利用見込みによる算出	0
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		-	0
成果・費用対効果	※④	-	0

①公益性 0

②必要性 0

③適格性 0

④効果 0

令和5年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	生涯学習課	社会教育係	記載者職・氏名	係長 中堀 啓司			
新規	予算事業コード	6701					
No.	1014	補助金名	地域おこし協力隊活動費補助金				
根拠法	なし						
交付要綱等名称	下田市地域おこし協力隊活動費補助金交付要綱						
総合計画の位置付け	分野	2 子育て・教育	施策体系	施策6 生涯スポーツの振興			
	施策	スポーツ環境を整備します					
補助対象者	地域おこし協力隊員	事務局等	-				
補助金の性質	活動費的補助						
補助開始年度	R6	補助終期設定	なし	補助率	なし	1件当たり補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R06	1,271,000	0	1,271,000
R05	0	0	0
R04	0	0	0

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R04	0	0	0
R03	0	0	0
R02	0	0	0
R01	0	0	0
H30	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	支援団体である下田市振興公社へ委託せず、生涯学習課にて直営で活動するため
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	下田市振興公社への支援委託
当初目的の達成度	-
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	-

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	-	0
市が補助すべき理由	※②	市で委嘱した地域おこし協力隊の活動費を補助するため	0
目的・内容		生涯学習課事務所内に席を設けて活動をするため	0
補助金の主な使途	※③	地域おこし協力隊の活動費	0
予算要求額の算出根拠・算出方法		住居借上料、自動車借上、燃料費、旅費、消耗品費等の見込みによる算出	0
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		-	0
成果・費用対効果	※④	-	0

①公益性 0

②必要性 0

③適格性 0

④効果 0

令和5年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	生涯学習課 社会教育係	記載者職・氏名	係長 中堀 啓司
-------	-------------	---------	----------

新規	予算事業コード	6701
----	---------	------

No.	1015	補助金名	地域おこし協力隊起業支援補助金
-----	------	------	-----------------

根拠法	なし
-----	----

交付要綱等名称	下田市地域おこし協力隊起業支援補助金交付要綱
---------	------------------------

総合計画の位置付け	分野	3 観光・産業・雇用・移住促進	施策体系	施策3 商工業の振興
	施策	創業支援の充実と新産業の創出を推進します		

補助対象者	地域おこし協力隊員	事務局等	—
-------	-----------	------	---

補助金の性質	奨励的補助
--------	-------

補助開始年度	R5	補助終期設定	なし	補助率	10/10	1件当たり補助上限額	1,000,000
--------	----	--------	----	-----	-------	------------	-----------

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R06	0	0	0
R05	1,000,000	0	1,000,000
R04	0	0	0

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R04	0	0	0
R03	0	0	0
R02	0	0	0
R01	0	0	0
H30	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	所管課の地域おこし協力隊が市内で起業するため
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	—
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	—

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	市内で受け入れた地域おこし協力隊の定住・定着を図るため	0
市が補助すべき理由	※②	地域おこし協力隊が市内で起業するため	0
目的・内容		市内で起業する地域おこし協力隊を支援し、定住・定着を図るため	0
補助金の主な使途	※③	設備費、備品購入費、土地建物賃貸借費、資格取得費等	0
予算要求額の算出根拠・算出方法		申請見込み額による算出	0
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		—	0
成果・費用対効果	※④	—	0

①公益性	0
------	---

②必要性	0
------	---

③適格性	0
------	---

④効果	0
-----	---